

東明

令和5年10月2日発行
男鹿市立男鹿東中学校
校長 鳥井 雅則
第6号

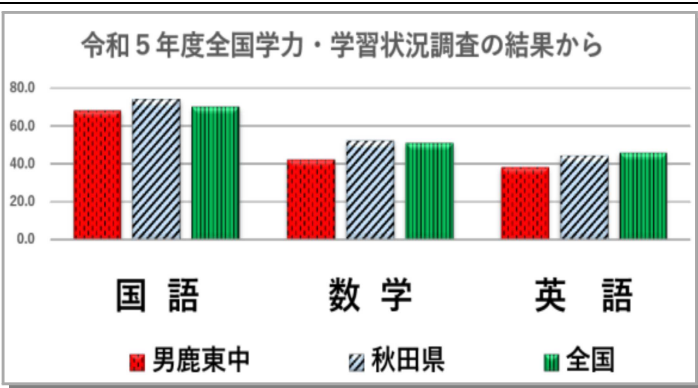
11日(水)から後期開始! 夢や目標を明確にもって、向上し続ける東中生に!

あれだけ暑かった夏が嘘のように、朝夕の冷え込みに驚く今日この頃です。校舎内は、暑くも寒くもなく、とても快適な環境で生徒は日々を過ごしています。早いもので4月から半年が経過しました。秋休み明けの11日(水)からは後半戦である後期が始まります。前期を振り返ると、潟西中学校との統合により美里小学校も新たな学区として加わり、新生男鹿東中学校がスタートした記念すべき年を迎えました。コロナ禍による制限をほぼ撤廃したPTA授業参観や運動会、東中祭。生徒の企画力や独自性、協調性は見事なものでした。合唱コンクールではすばらしいハーモニーを響かせていました。ご来賓やご家族の皆様とにかく褒められました。自分のことのようにうれしい気持ちになりました。生徒と先生たちの頑張り感謝しています。また、各部活動での市郡大会での躍動、大雨で延期を余儀なくされた県中総体に、東北・全国大会。たくさんの勇気をもらいました。全校一丸となり、確実な成長を遂げた前期であったと思います。前期の学校生活を振り返り、後期に向けて夢や目標を明確にもって、前向きに挑戦していく東中生であることを期待しています。何度でもあきらめずに挑戦することが次のステップへつながります。

後期の授業日は、96日間です。大きな行事は、3年生の修学旅行、新しい執行部による生徒会の運営、県学習状況調査を始めとした各種テスト、卒業式、アマノさんとのコラボ企画の弁当販売の継続等、明るく未来あふれる後期に向けて、日々向上し続ける男鹿東中学校の取組と活躍を楽しみにしてください。

全国学力・学習状況調査の結果から

4月に全国の中3を対象に、国語と数学、英語の3教科(英語は3年に1度実施)で全国学力・学習状況調査を行い、先日、結果について公表されました。本校3年生は、このグラフで示されているとおり、全国・県平均と比較すると、決して高くはありません。しかし、この学年の昨年の県学習状況調査と伸びを比較すると、3教科合計で7.8ポイント上回っていることでも分かるように、確実に向上はしています。細かく見ると、国語では「経験等に触れながら文章を書く」「文章を整える」「漢字」等の「書く力」がもう一歩で、数学では「データの活用」「関数」の領域が弱く、英語は「情報を正確に読み取る」「英文を書く」ことに課題が残るという分析結果でした。また、英語はPCを使って「英語で話す」解答方式も実施しましたが、正答率が全国平均と比較して、やや低いという結果でした。今後この結果をもとに、全教職員で成果や課題を更に把握し、本校のよさを伸ばしながら、弱点を強化し、授業改善に努めてまいります。質問紙では、「自分にはよいところがある」「一日の家庭学習量」「読書が好き」という項目で、昨年より格段に数値が向上しています。しかし、「将来の目標や夢がある」「地域や社会のために何かしたい」等に課題があることが分かりました。詳細についてはPTA等の機会に話題とし、家庭や地域と一体となり、生徒の学力向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。



先週、事務所の所長訪問がありました。本校の授業や学校生活の様子を観て、指導助言をいただく研究会のようなものです。授業も一巡しましたが、「質の高い学習課題からの学び」「生徒たちが真面目で、やる気が見られる」等、ありがたい言葉をたくさんいただきました。また、多くの学級では、タブレット端末や電子黒板を当たり前のように使う授業風景が見られました。ICT機器の効果的な活用をした個別最適な学び、「学習課題-学び合い-振り返り」を共通実践事項とした問題解決的な学び等、今後も続けていきたいと思ひます。

今後この結果をもとに、全教職員で成果や課題を更に把握し、本校のよさを伸ばしながら、弱点を強化し、授業改善に努めてまいります。質問紙では、「自分にはよいところがある」「一日の家庭学習量」「読書が好き」という項目で、昨年より格段に数値が向上しています。しかし、「将来の目標や夢がある」「地域や社会のために何かしたい」等に課題があることが分かりました。詳細についてはPTA等の機会に話題とし、家庭や地域と一体となり、生徒の学力向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。